

「また食べたいな」の声にこたえて



深谷に生まれ育ち、同地区の農家に嫁いだトク子さん。生活改善グループや農産加工グループで代表を務め、農産品を生かした食品加工に取り組みました。80代となった現在も現役で活躍中。

高橋 トク子さん（深谷）

「いいたて村の道の駅までい館」に並ぶトク子さんの梅干し、味噌、ジャム…おいしさにこだわった手作り品です。そして「漬物名人」の看板商品である「キムチ漬け」は、「また食べたい」「どこで買えるの」とやみつきになるファンが今も絶えません。

嫁ぎ先は大きな農家。義父と同様、夫の英明さんも、村内のさまざまに役職を担いながら農業に励んでいま

HOPES

ホープス セカンド

2nd



加工所の前には今年収穫されたカボチャ。このカボチャを使った「かぼちゃ饅頭」も人気の商品。かつては小豆あんを入れていましたが、現在はやさしい甘さのカボチャあん。

した。トク子さんは家族を支え、自らも食品加工を学んで地域の仲間と直売所を立ち上げるなど、農村の暮らしの向上と仲間づくりに邁進。村が主催した「嫁と姑の旅」で訪れた韓国でキムチと出会い、研究を重ねて、絶品キムチを開発しました。

全村避難で生活が一変。一時は体調も崩しましたが、あぶくま地域のかーちゃんが集結した「かーちゃんのプロジェクト協議会」での活躍を経て、現在は避難先と村、両方の加工所で仕事をしています。カボチャやシソ、ナンバンなど、材料の野菜も村の畑でつくります。続ける理由は「食べたい、つくってほしいと言われるから。それだけなんです」。体にもやさしいトク子さんの味です。まだまだファンの期待は収まりそうにありません。

〈編集後記〉

●暑い夏が過ぎさり、村にも過ぎしやすい季節がやってきました。被害をもたらす程の台風や大雨は極力避けたいですが、雨上がりのキラキラと光る村内の風景に心まで洗われるような気持ちになります。雨降って地固まるように、気持ちを新たにいきます。（木幡）

●「稲刈りするよ」「地区のみんなで花を植えたんだ」と広報に情報をいただくのと、とてもうれしくなります。いそいそと見に行ったり、それが記事につながったり。村からの発信に留まらず、皆さんが広報を通して身近なできごとを共有してくださる…そんな時は、ますますありがたい気持ちで満たされます。（星）



飯舘村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。